

教材の活用場面

活用した教材	文章作成ソフト・表計算ソフトを使いこなそう！【A23-2】		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_model/contents0522/excel.html		
STEP	STEP 2, 3	領域	A 基本的操作
学校名	昭島市立昭和中学校	校種	中学校
学年	第1学年	教科等	数学
単元名	データの活用		
活用の概要	東京都教育委員会が作成した情報活用能力デジタル教材の動画教材でスプレッドシートの使い方を学ぶ。生徒が実験結果をスプレッドシートに記録し、関数を利用して結果を集計する。		

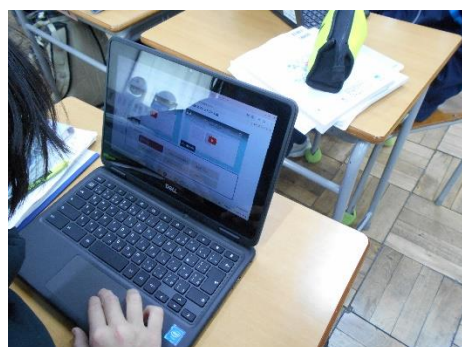
活用の様子

【ポイント1】 表計算ソフトの使い方を学ぶ



表計算ソフトの使い方に慣れ、紙面による集計だけでなく、表計算ソフトを利用する有用さを体験する。その後、代表値の計算やグラフ化が容易にできることを経験することで、情報活用能力の基本的操作技能を高める。

【ポイント2】 個別に繰り返し視聴ができる環境を設定する



生徒が自分のペースで動画を繰り返し視聴することで、表計算ソフトの使い方の理解を深め、また、入力用のシートを生徒自身が工夫して作成することにつながった。

生徒の中には、より使いやすさを工夫して表を作成するなど、基本的操作技能が高まった様子も見られた。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導 入	<p>1 本時のめあてを確認する</p> <p>ペットボトルキャップを投げたとき、表向きになる場合と、それ以外の場合ではどちらが起こりやすいかを考えるために表計算ソフトを使って、データを収集する。</p>	<p>○結果の予想をする。</p> <p>「表」以外にどんな場合があるか考える。</p>
展 開	<p>2 デジタル教材を活用し、表計算ソフトで使い方を理解する</p> <p>ペットボトルキャップを200回投げて「表」「裏」「横」のどれが出たかについて集計する。その結果を集計するための表を表計算ソフトで作成する。</p> <p>＜表を作るときのルール＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルには数字を入力する。 ・何回目に何が出たか分かるようにする。 ・投げた後、それぞれの合計が分かるようにする。 <p>3 表計算ソフトを利用し、結果を記録する</p> <p>掲示板ソフトにリンクを貼っておき、一度目は作成したシートを指導者と一緒に確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人班で活動する。 ・目標時間15分で集計用の表を作成する ・表の作成が終わった班から、分担を決めて集計を始める。 <p>4 関数を用いて結果を集計する</p> <p>「表」「裏」「横」がそれぞれ何回出たかの合計を、関数を利用して集計する。</p>	<p>■情報活用能力デジタル教材</p> <p>「文章作成ソフト・表計算ソフトを使いこなそう!」【A23-2】を視聴する。</p> <p>○セルや行や列などは必要に応じて補足する。</p> <p>○目標時間を決めて、素早く作業に取り組めるようにする。</p> <p>○繰り返し動画教材を見ることで確認することができるようにしておく。</p> <p>○残りの時間でペットボトルキャップを投げる回数を調整する。</p> <p>○関数の説明や操作方法の説明を適宜行う。</p> <p>★表計算ソフトを用いて結果を集計する表を作成し、関数を用いて正確に集計をすることができる。【知識・技能】</p>
ま と め	<p>5 まとめ</p> <p>本時を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次時では、表計算ソフトにデータを入力し、そのデータを基に、ペットボトルキャップが表向きになることの起こりやすさを数値で表すことを知る。</p>

